

フッ素加工製品の特長

フッ素加工製品は、化学薬品に対する耐性を上げるために、容器(HDPE)の内・外とキャップ(PP)全ての表面にフッ素加工処理を施しています。このことにより、従来のHDPEに使用できなかった薬品、例えば酸、または、反応性の高い試薬にしようできるようになっています。

■フッ素加工製品の特徴

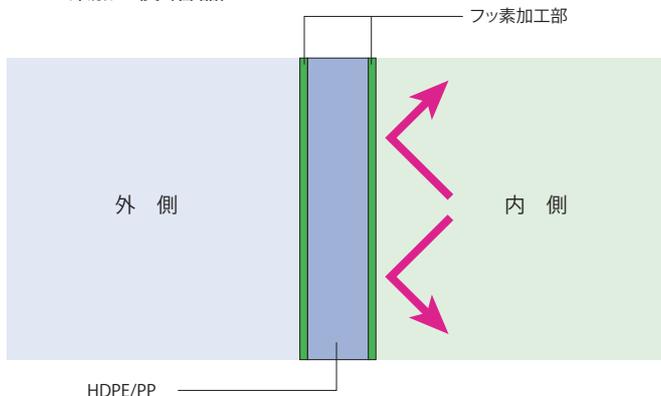
- ◎溶媒の吸収と浸透の低減
- ◎フッ素加工は半永久
- ◎再利用可能
- ◎容器の寿命が長くなり、経済的

洗浄の際にブラシで強くこすると、表面の処理が削れることがあります。

※アルカリ溶液は、ボトルを変色させる場合があります。

下記の化学薬品耐性表をご参照ください。

■フッ素加工後(容器)



分類別化学薬品耐性表

20℃での結果です。

製造メーカーにおいて確認したデータです。すべての薬品名を掲載しているわけではありません。

化学薬品分類	ECTFE ETFE	FEP TFE PFA	FLPE	HDPE XLPE	LDPE	PC	PETG	PMP	PP PPCO	PVC (チューブ類)	TPE
酸(希釈/弱)	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
酸*(濃縮/強)	B	A	A	A	A	D	D	A	A	C	C
脂肪族アルコール	A	A	A	A	A	B	A	A	A	B	A
アルデヒド	A	A	B	B	B	C	D	B	B	D	D
塩基	A	A	C	A	A	D	D	A	A	B	A
エステル	A	A	A	B	B	D	D	B	B	D	D
脂肪族炭化水素	A	A	A	B	C	C	A	C	B	C	D
芳香族炭化水素	A	A	A	B	C	D	D	C	C	D	D
ハロゲン化炭化水素	A	A	B	C	D	D	D	D	C	D	D
ケトン	B	A	A	B	B	D	D	C	B	D	D
強酸化剤	C	A	C	C	C	D	D	C	C	C	D

※酸化剤を除く

A: 30日間でダメージなし。さらに長期の使用に耐性あり。
 B: 30日間でわずかなダメージあり。
 C: 7日間である程度のダメージあり。
 (材質によってはひび割れ、クラッキング、強度の低下、変色が生じる可能性があります。LDPE, HDPE, PP, PPCO, PMPは化学薬品によって軟化、膨張、または薬品の浸透が生じる場合があります。これらの材質に与える影響は通常可逆的で、化学薬品を取り除くと元の状態に戻ります)
 D: ただちにダメージを受けるため、継続的な使用には適さない。
 (材質によってはひどいひび割れ、クラッキング、強度の低下、変色、変形、溶解が生じる可能性があります)

■樹脂の省略記号

ETFE	エチレン-テトラフルオロエチレン
FEP	フッ化エチレンプロピレン
FLPE	フッ素加工高密度ポリエチレン
FLPP	フッ素加工ポリプロピレン
HDPE	高密度ポリエチレン
LDPE	低密度ポリエチレン
PC	ポリカーボネート
PET	ポリエチレンテレフタレート
PETG	ポリエチレンテレフタレート共重合体
PFA	パーフルオロアルコキシフッ素樹脂
PMP	ポリメチルペンテン
PP	ポリプロピレン
PPCO	ポリプロピレンコポリマー
TPE	熱可塑性エラストマー